

【専門分野】

科目名	成人看護学概論 (対象理解及び経過別の理解・成人保健)	講師名	教育主事	学 年	1	履 修 期	第2学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験、看護管理者としての実務経験あり。						
授業概要	ライフサイクルにおける成人期にある対象の特徴を理解し、健康段階に応じた看護の役割、機能、疾患や症状に応じた援助について学ぶ。						
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある対象の特徴、各健康段階における対象の特徴と看護の役割を理解できる。 2. 各健康段階における対象の心理過程を理解する中範囲理論を理解できる。 3. 成人期の人々の健康のバランスに影響を及ぼす要因、疾病予防・健康増進に関わる保健活動を理解できる。 						
授業計画	<p>1～2回：成人看護の理念と成人期にある対象の成長発達の特徴 身体的特徴・精神的特徴・社会的特徴、発達理論（エリクソン、ハヴィガースト、レビンソン）、成人の役割（役割理論を含む）</p> <p>3回：成人各期の健康問題 青年期・壮年期・向老期にある人の健康問題</p> <p>4回：健康レベル別の対象の特徴と看護の役割（急性期） フィンクの「危機モデル」、アギュラとメズイックの「問題解決型危機モデル」</p> <p>5回：健康レベル別の対象の特徴と看護の役割（回復期） 国際生活機能分類、コーンの「障害による心理過程」</p> <p>6回：健康レベル別の対象の特徴と看護の役割（慢性期） バンデュラの「自己効力感（社会的学習理論）」事例検討、病みの軌跡</p> <p>7回：健康レベル別の対象の特徴と看護の役割（終末期） キューブラ・ロスの「死にゆく過程」、「予期的悲嘆」「悲嘆のプロセス」、DNAR、IC</p> <p>8回：保健統計からみた成人の保健動向 我が国の総人口、平均寿命と健康寿命、疾病の概況（有病率・受診率・死亡率・主要死因別・メンタルヘルス・生活習慣病）、国民医療費</p> <p>9回：保健・医療・福祉政策と今日の健康問題 ヘルスプロモーションとは、ヘルスプロモーションの歴史、日本のヘルスプロモーション（生活習慣病と健康管理：健康日本21と健康増進法・がん対策基本法・特定健康診査と特定保健指導）</p> <p>10～12回：生活行動がもたらす健康問題とその予防 生活習慣（食生活・運動習慣・喫煙・飲酒・ソーシャルメディアと依存）、仕事をめぐる状況（職業性疾病・労働者の健康に影響を及ぼす要因・過重労働）、家族をめぐる状況</p> <p>13回：健康バランスの構成要素 健康バランスに影響を及ぼす要因、ストレスコーピングを支えるセリエ、ラザルスによるストレスコーピングのプロセス</p> <p>14～15回：生活の中で健康行動を生み育む援助 大人の健康行動の捉え方（アンドラゴジー）、行動変容ステージモデル</p> <p>15回：終了試験</p>						<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p>
評価方法	筆記試験（95%）・課題提出・授業参加状況（5%）						
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論, 医学書院. 2. 系統別看護学講座 専門分野 基礎看護学 [4] 臨床看護総論, 医学書院. 						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生がみえる, 医療情報科学研究所. 2. 国民衛生の動向 2022年度版, 厚生労働統計協会. 						
学生へのメッセージ	<p>成人期にある対象の特徴を身体的・精神的・社会的な側面から理解できるように学んでください。そして、成人への看護に有用な概念として患者理解のための中範囲理論について概要を学び、様々な健康レベルにある患者及びその家族に生じる影響や必要な看護を考えましょう。また、成人における健康の保持・増進・予防行動について基本的な理解を深め、自らの健康と照らし合わせながら、成人の健康行動を促進するための看護アプローチについて学んでください。</p> <p>【関連科目】公衆衛生学、看護学概論、心理学、健康教育論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅴ</p>						